

科学技術連携施策群の成果及び今後の見通し (中間とりまとめイメージ案)

基本的な構成は、以下の ~ を想定

連携施策群について

* 連携施策群の趣旨、仕組み等を記載

連携施策群の活動状況と成果

今後の課題と進め方

及び は、各連携施策群（現行 8 テーマ）ごとに、以下の項目に沿って、活動状況、成果（これまでの成果と今後の見通し）、今後の課題を整理していったらどうか。

【 連携施策群 】

連携施策群の活動状況と成果

1. 連携施策群の概要

* 1. では、各連携施策群の目標や含まれる府省施策を記載

(1) 連携施策群の位置付け、目標

1) 連携施策群の位置付け

* 国際的な研究動向・水準に照らした位置付けも含めて記載

2) 連携施策群の目標

(2) 連携施策群に含まれる府省施策

* 一覧表等をイメージ

2. 連携施策群の活動状況

* 2. では、府省間等での調整活動や補完的課題の実施など、従来と何が変わったかを記載

(資料5 - 1 参照)

(1) 府省連携の活動状況

1) 連携システムの構築

例1 協働化の進展

例2 関連技術マップ等の作成・共有化・活用

例3 連携促進のための関連制度の充実

例4 地域における連携活動の展開 等

2) 予算への反映

* 重複排除等による予算効率化

3) 他府省の成果などの活用

* 府省間の連携が効率的な研究成果の活用に結びついた事例など

例1 相互活用のしやすさを組み入れた技術開発の進展(モジュール化等)

例2 同一サイトでの共同実施による成果結集

例3 情報発信・成果共有による成果の利活用促進 等

(2) 補完的課題の実施

* 目標と実施状況

例1 共通的な基盤の整備(統合的データベース、プラットフォーム)

例2 キーとなる課題の実施による研究全体の進展

例3 技術の利活用・普及の促進

(3) その他新たな取組

3. 連携施策群の活動の成果

* 3. では、連携により期待される価値創造の成果について資料4のパターンの視点から記載(資料5 - 2 参照)

(1) 協働化の進展によるシナジー効果

(2) 知の源から結実までの一貫した流れ

(3) 価値創造の加速化

(4) その他の付加価値

(5) 目標達成の見込み

* 連携施策群の目標に照らした現状と、今後の達成の見込みについて記載

今後の課題と進め方

1 . 連携施策群の推進における今後の課題

* それぞれの連携施策群をこれまで進めてきた中で残された課題

* 今後、連携施策群の手法を展開していく際に留意すべきと考えられる点 等

・イノベーション創出を誘発する活動

・当該分野以外の分野の施策との連携 等

2 . 今後の活動予定

(1) 活動計画

(2) 対外発信、情報共有活動

* 成果発表会、シンポジウムの開催、民間を含めた情報共有の場づくり 等

(3) その他